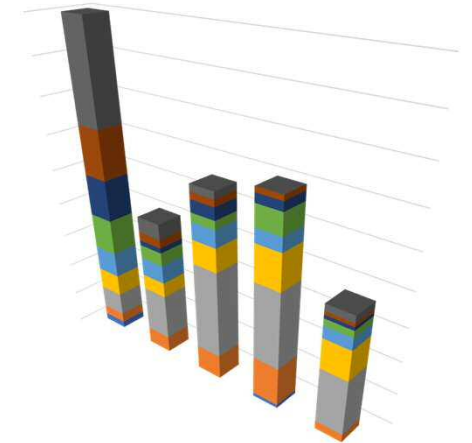


札幌市の感染状況・医療提供体制の週間分析 概況

(2021年4月21日分)

※2021年4月12日～4月18日の1週間のデータを用いた分析



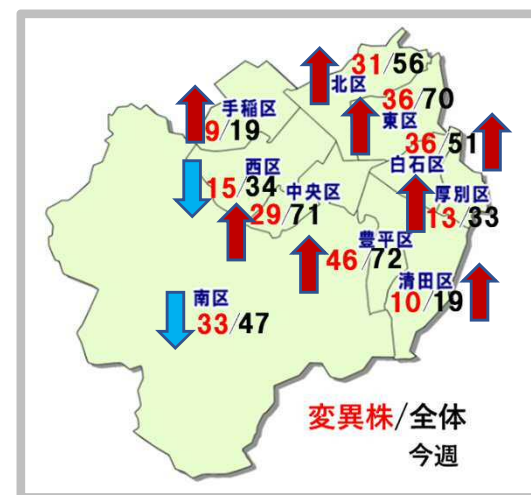
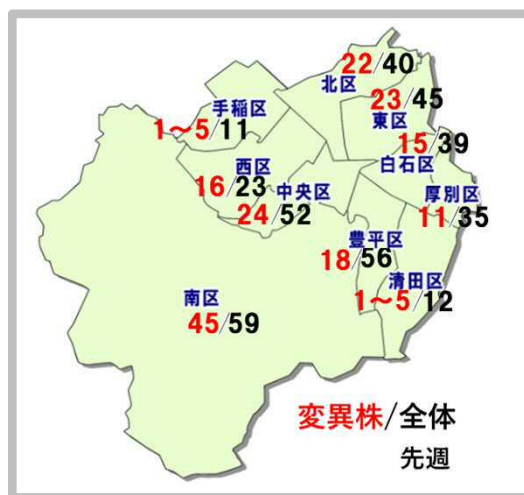
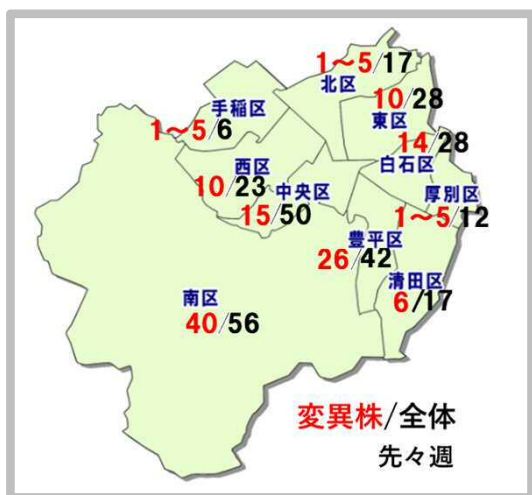
概況

感染状況の分析

- 新規陽性者数が大きく増加傾向で、実効再生産数も1を持続的に超えています。リンク不明の患者数も大きく増加し、最大限の警戒が必要な状況です。
- 現在の所、変異株は全区へ広がりを見せ、その中でも人口比で見ると豊平区で拡大傾向にあります。生産年齢人口にあたる世代（20～50代）での変異株患者が増加しています。
- さらに、GWでの人の動きが心配され、それに伴い感染リスクも増加しますので、リスク低減する行動を質と量の側面を高めてください（正しいマスク着用、手指消毒の質と頻度アップ）。
- 症状が出ていても働いている陽性患者が目につきます（倦怠感・関節痛/筋肉痛・食欲不振のみなど軽微な症状が数日先行し発熱している事例）。休みやすい、相談しやすい職場環境を作りましょう。マスク・手指衛生の徹底に加えて職員の体調相互チェックをし、検査につなげましょう。
- 風邪症状（咳・鼻汁・咽頭痛）はもちろんのこと、倦怠感・関節痛/筋肉痛・食欲不振が症状の特徴としても見えています。積極的な受診・検査をよろしくお願いいたします。

検査・医療提供体制の分析

- 陽性率は増加傾向で、札幌市が目標としている5%未満を越えています。流行拡大の可能性が考えられます。積極的な検査にご協力をお願いいたします。
- 変異株患者の増加とその重症化傾向による入院に伴う病床の大きな負荷を認め、入院患者数は第3波を越えています。
- 重症化から入院期間が長期になり、医療機関のひっ迫が第3波に比較して起こりやすいといえます。これ以上の流行とならないことがこれまで以上に重要な状況です。
- 第4波の重症化の特徴から、第3波までとは別な病気だと思ってください。これまで重症になることが少なかった非高齢成人の重症化が珍しくなくなっています。高齢者でなければ大丈夫というのは過去の話です。



概況①




感染状況の分析

区分	モニタリング項目	前回の数値 (4月11日時点)	現在の数値 (4月18日時点)	前回との比較	(参考) 過去最大値	項目ごとの分析
感染状況	①新規陽性者数	55.1人	71人	 28.9%	161.0人 (11/22)	<p>コメント 感染の拡大、医療機関でのクラスターの発生に警戒が必要です</p> <p>新規陽性者数が大きく増加傾向で、実効再生産数も1を持続的に超えています。リンク不明の患者数も大きく増加し、最大限の警戒が必要な状況です。現在の所、変異株は全区へ広がりをみせ、その中でも人口比で見ると豊平区で拡大傾向にあります。また、生産年齢人口にあたる世代（20～50代）での変異株患者が増加しています。さらに、GWでの人の動きが心配され、それに伴い感染リスクも増加しますので、リスク低減する行動を質と量の側面を高めてください（正しいマスク着用、手指消毒の質と頻度アップ）。</p> <p>風邪症状はもちろんのこと、倦怠感・関節痛/筋肉痛・食欲不振が症状の特徴として見えています。積極的な受診・検査をよろしくお願いいたします。</p>
	②実効再生産数 ※発症日ベース	1.05 (4/2)	1.15 (4/9)	 9.5%	2.32 (3/28)	
	③新規陽性者における接触歴等の不明者数（リンクなし）	18.7件	32.0件	 71.1%	89.4件 (11/22)	
	④発症日から陽性確定日までの平均日数（リンクなし）	3.9日	3.8日	 -2.6%	20.0日 (4/28)	
	⑤相談件数	638件	758件	 18.8%	-	
潜在・市中感染	(内：症状あり)	417件	504件	 20.9%	-	

※①、③～⑤は直近7日間平均で算出。

概況②

検査・医療提供体制の分析

区分	モニタリング項目	前回の数値 (4月11日時点)	現在の数値 (4月18日時点)	前回との 比較	(参考) 過去最大値	項目ごとの分析
検査体制	①検査数	1199.9件	1198.1件	 -0.1%	1645.3件 (11/29)	コメント 積極的な受診・検査をお願いします。
	②検査の陽性率	5.2%	6.6%	 26.4%	24.9% (4/19)	札幌市が目標としている 5%未満を越えています 。流行拡大の可能性が考えられます。 積極的な検査にご協力お願いいたします。
医療提供体制	③入院患者数	216人	287人	 32.9%	273人 (11/29)	コメント 重症患者・中等症患者が持続的に出ています。医療機関の負荷が大きくなっています。
	(内：重症数)	20人	16人	 -20.0%	27人 (5/5)	入院医療体制はフェーズ3に入っていますが、 変異株患者の増加とその重症化傾向による入院に伴う病床の大きな負荷を認め、入院患者数は第3波を越えています 。特に変異株患者での非高齢成人での中等症・重症が増加しています。変異株では、中等症以上になる率が高い傾向があると考えます（通常株の3倍）。
	(内：中等症数)	82人	97人	 18.3%	110人 (11/29)	
	④宿泊療養者数	207人	187人	 -9.7%	302人 (11/15)	重症化により入院期間が長期になり、医療機関のひっ迫が第3波に比較して起こりやすいといえます。

※①、②は直近7日間平均で算出。

第4波・変異株の特徴

- 第3波までとは別な病気だと思ってください
- これまで重症になることが少なかった**非高齢成人（20～59歳）の重症化**が珍しくなくなっています
- 高齢者でなければ大丈夫というのは過去の話です

不定期コロナ通信②

変異株の流行により**非高齢成人の酸素投与が必要な患者が多数発生**しています

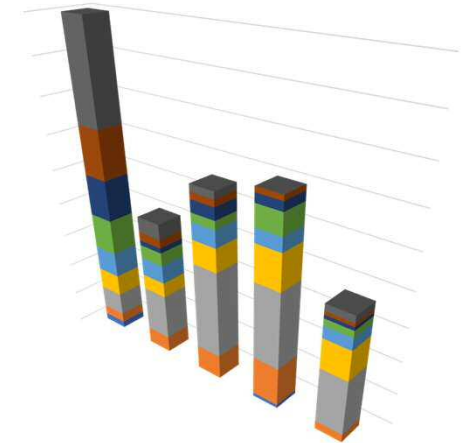
第3波の数倍以上となっています

11月～12月は20～59歳の方の約100人に2人が
今回の波では“約10人に1人が酸素投与が必要な中等症以上”となっています



札幌市の感染状況・医療提供体制の週間分析 概況（変異株） (2021年4月21日分)

※2021年4月12日～4月18日の1週間のデータを用いた分析

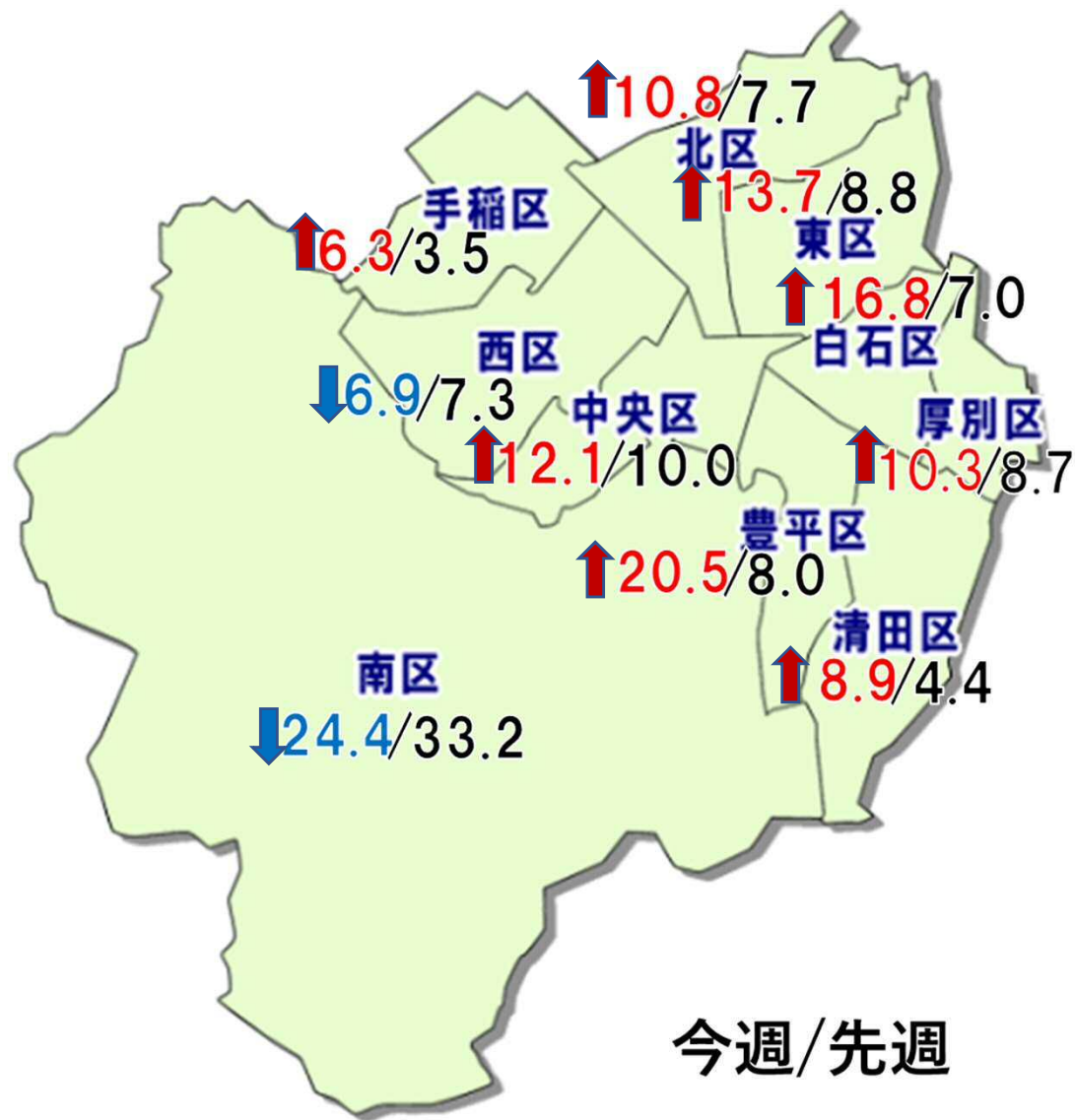


※本書及び掲載されているデータの無断転載及び著者本人以外からの無断提供を禁じます。

札幌市全体

↑13.2/9.4

(先週比40.4%↑)



今週/先週

札幌市の区別人口平均値は約20万人です (2021年3月現在)

スクリーニング検査中に占める

変異株陽性率

71.8%

(先週から+6.9ポイント↑)

先週値64.9%

札幌市変異株流行の事例と対策

(2021年4月21日分)

□理美容店で、双方不織布マスク等の感染対策をきちんと行っていたにも関わらず、陽性者から従業員へ感染した事例

→対策：変異株は別の病気と考え、入店前の健康状態確認をさらに徹底するとともに、手指消毒をいつもの2倍に

□症状が出ていても働いている陽性患者が目につきます（倦怠感・関節痛/筋肉痛・食欲不振のみなど軽微な症状が数日先行して発熱している事例）

→対策：職員の体調相互チェック＋マスク・手指衛生の徹底→検査へ（★）

□社外のプライベート活動、宅飲みやスポーツレジャーでの感染事例

□新年度における職場での研修会と、その後のプライベート活動での感染事例

→対策：活動後の飲み会や集まりは再検討を。プライベートでも、友人宅でもマスク着用、携帯型アルコール持参で頻回の手指衛生を

□コンタクトスポーツのクラブチームでの感染拡大事例

→対策：集まってのスポーツは再検討を。行う場合は、参加者の体調チェックの徹底を。自己申告ではなく相互チェックに。症状あれば休みとし、積極的に検査へ（★）

『あなたが検査をすることは
人の命を救うことになります』

（★）：かかりつけ医または#7119へ

札幌市変異株流行状況

“今週のポイント”

(2021年4月21日分)

- ① 全区での広がりとなっているなか、**豊平区・白石区・東区・中央区で大きな流行**となっています。また、**20～50代での変異株が増加**しています。風邪症状（咳・鼻水・喉いた・熱）に加えて倦怠感・関節痛/筋肉痛・食欲不振での早期受診と検査を。
- ② これまで重症になることが少なかった非高齢成人の重症化が珍しくなくなっています。高齢者でなければ大丈夫というのは過去の話です。**第3波までとは別な病気**だと思ってください。
- ③ 札幌市の変異株流行状況は悪化しています。市中感染の可能性が高いと思われます。外出等再検討してください。

事例や流行区の状況を踏まえた

地域・職場での声掛けで変異株流行を抑えましょう

職員の健康管理も重要な感染対策です

新年度はいろいろと
休みにくい時期！



積極的な受診・検査をお願いします。